

図 1-2 平成 15 年の底層の溶存酸素量分布 (mJ/L) 6 月 24 日～12 月 3 日

底層の溶存酸素量は底上 1m で測定

2. 内湾鉛直縦断面の溶存酸素量分布からみた貧酸素水塊の大きさ(図2～4)

水産研究センターと内湾底びき網研究会連合会で行っている水質調査点のうち内湾中央南北の5点(図3途中から6点に変更)で求めた鉛直縦断面の溶存酸素量分布から貧酸素水塊の大きさを表した。図2は調査ごとの鉛直縦断面の溶存酸素量分布、図4は溶存酸素量分布のうちの貧酸素水(2.5ml/L以下)部分の面積比(貧酸素水割合)である。

7月までは例年並、8月は冷夏のため小規模、9月に一度大規模化した、例年より早く縮小した。最大割合は63%と近年と同規模だが、規模の大きい期間は短い年であった。

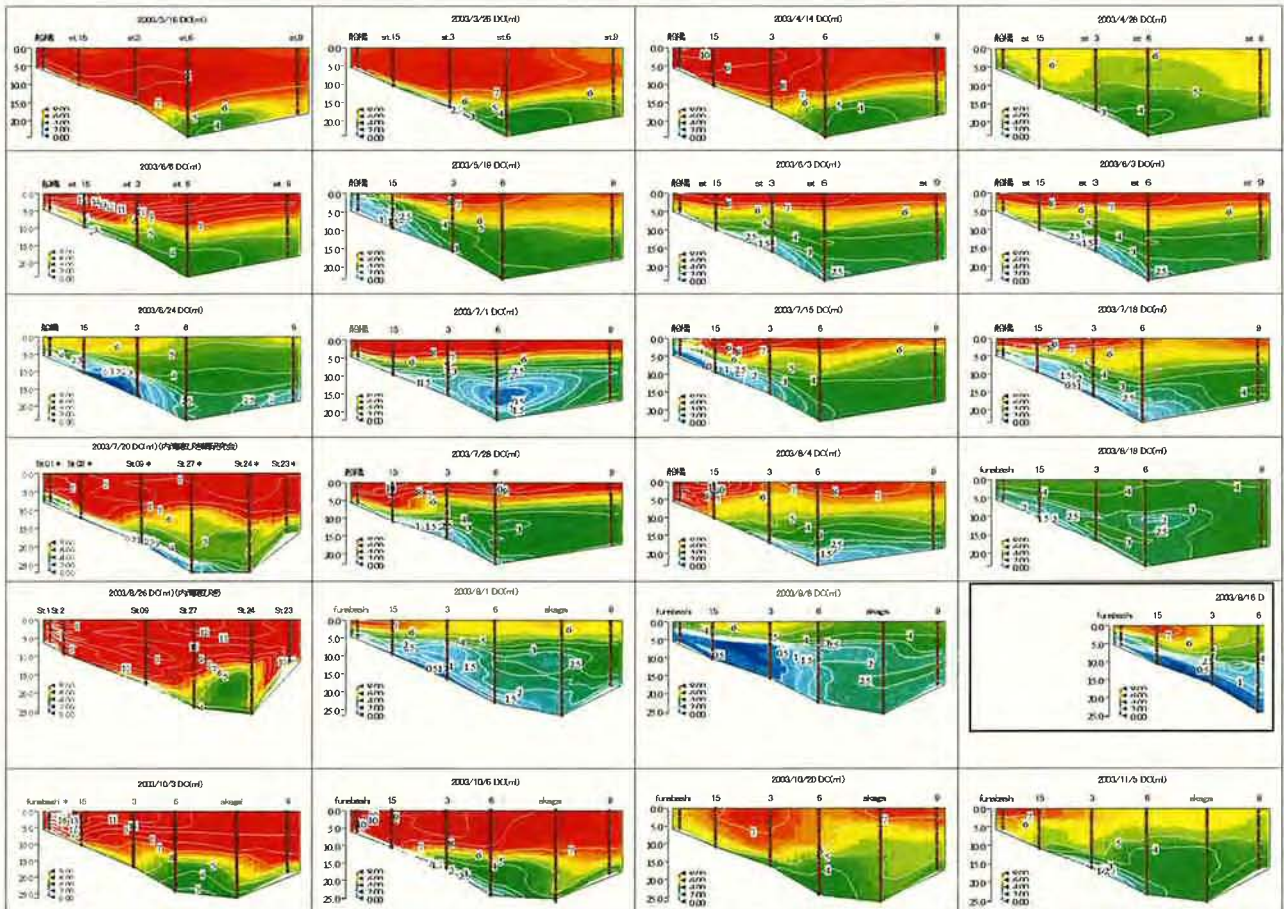


図2 平成15年の鉛直縦断面の溶存酸素量分布 (ml/L)



図3 鉛直縦断面の調査点

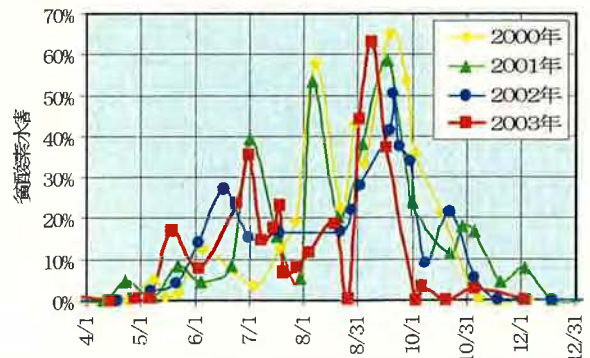


図4 鉛直断縦面の貧酸素水塊(2.5ml/L以下)の割合